

課題の実装の進め方

須藤功平

株式会社クリアコード

実践リーダーブルコード

2015-03-06

実装する目的

午後の作業の布石



- ✓ 課題の仕様を理解するため
- ✓ 読まれることを意識して書かれたコードを用意するため
- ✓ リーダブルなコードを書いて！

目的じゃないこと

- ✓ テクニックをたくさん覚える
- ✓ 難しいプログラムでも実装できるようになる
- ✓ 速く実装できるようになる

課題の傾向

- ✓ 技術的に難しいことは意図的に避けている
- ✓ 段階的に改良していく
- ✓ 時間内で実装しきれない分量
- ✓ **すべて実装する必要はない!**

練習としてやること

仕様1を実装

進め方の詳細はtask.mdを参照

メモ

- ✓ 工夫したことはmemo.mdに書く
- ✓ memo.mdはリポジトリにpush
- ✓ ↓を含める
 - ✓ 実際のコードのURL
 - ✓ リーダブルな理由

メモ例

統一されたスタイル ← リードダブルな書き方の名前

URL: <https://github.com/kou/.../commit/eb02be>

コード:

```
@@ -64,7 +64,7 @@ void add_recipe_to_RecipeList(...) {
void open_RecipeList(RecipeList *list, char *path) {
    FILE *fp;
    /* ファイルを開く */
-   if ((fp = fopen(path, "r")) == NULL){
+   if ((fp = fopen(path, "r")) == NULL) {
        fprintf(stderr, "ファイルが開けません\n");
        fclose(fp);
        exit(EXIT_FAILURE);
```

理由:

ファイル内でスタイルを統一しているので読みやすくなっている。

リーダブルコードとは

- ✓ 読む人基準
 - ✓ 「読む人」が 読みやすいならリーダブル
- ✓ 読む人の視点を意識してみて
 - ✓ どんな人が読む？
 - ✓ どんな前提知識がある？

困ったら1

- ✓ チューターに相談
 - ✓ チューターは**答えを教えない**
 - ✓ 一緒に考えてくれる
- ✓ **なんで！？** 答えを教えてよ！
 - ✓ 講師が禁止している
(参加者が考える機会を奪わないため)
 - ✓ チューターは意地悪ではない

困ったら2

- ✓ まわりの参加者に相談
 - ✓ 答えを教えてもよい
 - ✓ 一緒に考えてもよい
- ✓ 条件
 - ✓ 答えを教えるときは理由も伝える
(教える参加者が考える機会になる！)
 - ✓ 聞く人は理由も聞く
(考え方を知ると新しい視点でコードを読める！)